



## 母校校庭の西に鎮座する「神戈陵」

**第42号**

題字 西 春彦 著

○発行所 川辺高等学校東京同窓会

○発行日 平成30年10月27日

○編集発行人 小原東洋明

○印刷所 株式会社 盈進社 ☎03(3262)3471

第42回会  
総 覧

## 東京同窓会

梅雨入り前ということもあり、快晴に恵まれた平成三十年六月二日(土)、新宿ワシントンホテルで第四十二回川辺高等学校東京同窓会の総会・懇親会が開催されました。

本総会は、直前に大坪憲市本部同窓会会長の急逝という悲報が届き、小原会長以下役員一同が大きな衝撃を受ける中で、準備作業を進めることとなりました。本部同窓会からは急遽森田剛副会長が、そして川辺高等学校からは、四月に着任されたばかりの大山尚人校長先生と高山裕司先生、の三方が来賓としてご参加くださいました。前日には、森田副会長、大山校長先生、高山先生と東京同窓会の小原会長、峯苦副会長をはじめとする役員有志との交流会を催し、新入生の大幅な減少が続き、危機的ともいえる母校の現状や課題などについて熱の入った意見交換を行いました。

総会・懇親会の参加者数は、最終的に、来賓を含めて昨年とほぼ同数の百八十名に達しました。

総会に先立って、日本歴史文化研究所の松村秀明教授(昭和四十六年

卒)による、「西郷を育てた名君 島津斉彬」と題した特別講演がありました。おりしもテレビの大河ドラマで「せごどん」が放映されていることもあり、余裕を見て一〇脚用意してあった会場の席が、アッと思う間に満席となったため、スタッフは大慌てで追加の椅子を運び込み、最終的には百五十名以上が聴講することとなりました。

講演では、本題に先立って、川辺高等学校の初代校長である、岩崎校長先生についての詳しい話を紹介し、講師が入念な調査・研究を行ったことをうかがわせました。本題でもとさおりジョークを交えた軽妙な語り口は、教授という堅苦しいイメージの肩書とは大きく異なり、親しみやすさを感じさせ、出席した同窓生たちも熱心に聞き入っていました。

続いて総会・懇親会会場において、川辺高等学校を昭和五十三年に卒業して、東京や宇都宮を中心にジャズのライブ活動をしているミーナさん(小林美知代)によるミニコンサートの開かれました。限られた時間の中で、オリジナルの曲を歌った後に

は、昭和五十二年に川辺高等学校を卒業した姉の野中ゆかりさんとのデュエットで、ザピーナッツのヒット曲「恋のバカンス」を熱唱し、出席者からは一緒に口ずさんだり、昔を懐かしんだりする声が聞かれました。

その後、小原会長を議長として総会の議事に移り、恒例の物故者への黙祷に続いて、小原会長から大坪本部同窓会会長の逝去を悼む言葉と、前夜の交流会での議論の紹介を含めた挨拶がありました。続いて、昨年度の会務報告、会計報告、会計監査報告が行われ、議案のすべてが参加者全員から異議なく承認されました。

続く懇親会は、年度幹事である昭和五十年卒の滝山一成さんと加瀬美千代さんの司会で始まり、九名の来賓の方々が紹介されました。

その後、森田剛本部同窓会副会長より、故大坪会長の葬儀の様子、東京同窓会からの弔意に対する感謝の言葉と、再来年の創立百二十周年事業について、母校への支援を要請する旨のご挨拶がありました。

続いて、大山尚人校長先生が、平成三十年の入学者が大幅に減少した結果、一学年二クラスが現実のものとなったことなど、母校の現況を紹介されました。

その後、平成三十年卒業で関東地域の学校に入学した、四名の新入会員が紹介され、それぞれが壇上で自己紹介を行いました。

次に総会の担当年度幹事の紹介があり、昭和二十七年卒の君野満明先輩の音頭で、参加者が待ちかねていた乾杯を行った後、年次別に分かれたテーブルでの懇談に移りました。

ホテルの料理に先駆けて、刺身こんにゃく、つけ揚げが並ぶと、用意されたイモ焼酎も加わって、どのテーブルも一挙に盛り上がりました。宴たけなわにさしかかると、有志の女性陣が着物やハッピー姿で、テーブルの間を縫って「おはら節」などを踊り始め、待ち構えていた男性陣も踊りの輪に加わり、会場は熱気の渦に包まれました。

懇親会の終盤には、新旧の校歌を昭和三十八年卒の堂園俊秋先輩の指揮のもと会場全員で斉唱し、昭和三十年卒の井料和彦先輩が音頭を取っての万歳三唱のあと、昭和四十一年卒の峯苦副会長による閉会のあいさつをもって第四十二回東京同窓会総会・懇親会は終了しました。(昭和四十一年卒 森山副会長記)





## ご挨拶

東京同窓会会長  
昭和三十八年卒

小原 東洋明

東京同窓会会員の皆様には、お褒めいただきありがとうございます。お慶び申し上げます。

第四十二回総会・懇親会は、去る六月、総勢百八十名が集い盛大に開催されましたことを、先ずはご報告致します。年々会員数が減少していく中、大勢の同窓生が参加くださいました。諸先輩方が積み重ねてきた同窓会組織がうまく機能した成果であり、感謝します。

当同窓会の平均年齢は七十一歳となり高齢化が進んで参りまいりました。昭和五十年代後半からの会員登録が極端に少ないことがその要因です。執行部ではその対策として「魅力ある同窓会作り」を掲げ、若い世代が参加してみたい企画作りに努めています。また、平成年度卒業生を中心に同窓会ネットワークを作り、懇親を重ねています。徐々に総会参加者が増えて来ているのは心強い限りです。地道ではありますが、今後ともこれらの活動を続けてまいります。

ります。進学校としての母校は、生徒の第一志望を実現させる体制を再構築する必要がありますのではないのでしょうか。その取り組みの中で受験生の信頼を勝ち得ることが母校復活への第一歩であると思います。

母校から遠く離れた東京同窓会の役割は限られますが、できることから活動していかねばなりません。母校を語ることは母校の魅力を発信することになり、受験生の獲得に効果があるかと思えます。故郷の受験生に向けて発信しましょう。

母校と同窓生は相互に影響しあう共同体ではないでしょうか。交流が深まれば、相互に受ける刺激もまた大きくなり、お互いを高めてくれます。生徒さん達が修学旅行に訪れるのを機会に、当会会員との懇談の場を設け、母校との交流を深めることに致しました。生徒さん達が自らの将来を見据え、目的意識を持って行動する一助にでもなればと願っています。

最後にになりましたが、母校の発展と会員各位のご多幸を祈念し、ご挨拶いたします。



## 同窓会会長就任のご挨拶

同窓会会長  
昭和四十三年卒

森田 剛

このたび本部同窓会会長をお引き受けすることとなりました昭和四十三年卒の森田剛と申します。浅学非才、不安一杯であります。皆様の協力をお願いしながら精いっぱい責任を果たしていきたいと考えております。よろしくお願いいたします。

さて先般久しぶりに東京同窓会に参加させていただき、その盛会ぶりにびっくりしました。小原会長さんのお話ではこれでも年々参加者が減少してきており、特に若い方々への参加呼びかけには苦労されているとのことでした。やはりどこの地区同窓会でも悩みは同じだなと思い、何かの対策はないものかと考えてみました。そこで若者への参加を呼びかける方法として、卒業生の担任の先生方から地区同窓会への参加啓発をしてもらうと言うことです。

今、母校は入学希望者の減少に悩んでおります。少子化、進路選択の多様化等の原因はあるかと思いますが、このまま看過しておきますと状況はもっと悪化していくのではな

いかと危惧されます。先日中学三年生の保護者から「川辺高校の特色は何であるか」と問われ、「上級学校を目指す進学校である」と答えましたところ、「上級学校を卒業した後の事を知りたい」と言われました。

ここは同窓会の出番だと思います。「川辺高校には全国各地に活躍されている卒業生が集う各地区の同窓会があり、同じ高校をでた仲間として年齢の垣根を超えた交流ができ、若者にとってはいろいろと教示いただける場でもあります。これが川辺高校の特色であり伝統校と言われる所以だと思います」と答えておきました。

母校は二年後に百二十年の節目を迎えます。皆で母校を見守り後輩たちが良き社会人となるように力を合わせて行きましょう。





## 「生徒達とのふれあいを」

川辺高等学校校長 大山 尚人

今年の川辺の夏も全国の夏と同じく猛暑でした。恒例の知覧ねぶた祭り、川辺祇園祭り等の催事があり、暑さに負けることなく、川辺高校生も多数参加して地域貢献の活動を行っていました。

また、なぎなた部は九州高校総体で団体三位、全国高校総体では団体で県勢十位に決勝トーナメントに進み五位入賞と健闘しました。音楽部は県吹奏楽コンクールで選ばれて、南九州小編成吹奏楽コンテストに出場しました。金賞を受賞し、さらに金管セクションでも「きらめき賞」を受賞しました。他にも県で二十校選抜される野球部のNHK旗争奪選抜大会出場や水泳部の九州大会出場などそれぞれの部活動で頑張っております。部活動を通じて生徒の成長を感じて嬉しく思っております。さて、東京同窓会の皆様にとって今年の夏はどのようなものですか。六月の総会では大変お世話になりました。六月の総会では大変お世話になりました。総会で紹介しましたが、十二月四日〜七



## 東京同窓会に参加して

―なぎなた部近況―

川辺高等学校教諭(保健体育) 高山 裕司

本年六月二日の四十二周年の東京同窓会に参加させて頂きありがとうございました。川辺高校に五年前に赴任し初めて参加させて頂き、改めて多くの方に支援されて今の川辺高校があるということを実感する日になりました。

私が顧問をさせて頂いている「なぎなた部」は、赴任した年に東京インターハイに代表として出場、全種目一勝しかできず予選敗退という結果に終わったものの、多大な応援とご支援を賜り大変うれしかったのを覚えています。あれから四年ようやく結果を残せるまでになりました。これもまた、同窓会の皆様のご支援があったからこそだと思います。

では、本校なぎなた部の近況をご報告させて頂きたいと思っております。

鹿児島県内には川辺高校を含め四校になぎなた部があります。本校はその中でも入学者数の影響もあり、現在では二番目に部員が多い部となっております。今年度は、三年生三名、二年生一名、一年生三名の七名

で活動しています。七名中四名が、高校からなぎなたを始めた生徒達です。連休があれば、遠いところは千葉県勝浦市から沖繩を含めた九州各地に遠征し、なぎなたと勉強を両立させながら頑張っています。

今年度は、生徒にも私にも油断があつたため先行されたが辛くも逆転し、九州大会・インターハイの出場権を獲得できたという状況でした。

しかしその事がかえって、お互いに気を引き締め合え、全員が一丸となり絶対に負けてはならないという思いと、全国大会で必ず入賞するという目標の下に活動してきたことを明確にすることができたように思えます。その甲斐あつてか、六月に福岡県で開催された九州大会では、今まで勝つことのできなかった開催県の中村学園女子高校に逆転勝ちし、全国大会優勝の常連、沖繩県代表の首里高校に代表戦の末惜敗し、二十三年ぶりに団体第三位という結果を残すことができました。また、八月に三重県で開催されたインターハイで

日に二年生の関東への修学旅行があります。四日は横浜に、五・六日は浦安に宿泊します。東京同窓会の皆様ホテルに来ていただき生徒達にいろいろな話をしていただけ嬉しいうらみです。顔を見せていただけただけでも嬉しいですね。OBやOGは生徒達にとって偉大な存在で、話を聞くだけで大きな刺激になります。私と同窓会係の渡辺も同行しますので、事前に母校に連絡をください。お待ちしております。

また、帰郷の際には、母校へも是非お立ち寄りください。正門付近も整備され、校史資料室も整理されました。母校は皆様の来校を待っています。

最後になりましたが、平素から母校の教育活動に深い御理解と多大な御支援を賜っておりますことに対し、厚く御礼申し上げます。併せて東京同窓会の、今後益々の御発展を祈念いたします。



は、五年以上もの間、予選を突破することができなかった先輩達の悔しい思いを晴らし、何とか予選突破しました。決勝トーナメント一回戦は山口県代表の長府高校に勝利、二回戦で全国大会優勝経験もある島根代表の出雲北陵高校に惜敗しましたが、三十四年前の団体六位を上回る五位入賞という結果を残すことができました。

二年後には鹿児島国体を控えています。これからは、全国大会で「入賞」という目標から「優勝」の目標に変え、全員一丸となり目指していきます。今後とも変わらぬご支援と応援をよろしくお願いします。

## 大坪憲市君を偲んで

東京同窓会 副会長 森山昭利

川辺高等学校東京同窓会の第四十二回総会まで、あと一週間ほどとなった五月二十三日の朝、同期（四十一年卒）の内村君からの突然の電話が入り、何かかと思いつながら聞くと、「今朝、同期の大坪君が亡くなった」との知らせでした。あまりにも

意外な悲報に、言葉が失ってしまいました。とるものもとりにあえず、小原会長、同期の峯吉・橋本両副会長に連絡を入れましたが、みんな茫然自失といったありさまでした。

昨年十月に城山観光ホテルで開催した四十一年卒の古稀同窓会や、今年三月の関東さつま川辺会で、元気な様子を拝見したばかりだけに、突然の訃報はショックでした。

高校時代には彼は川辺中学校出身、私は知覧中学校出身、クラブ活動は彼が野球部、私は音楽部といった具合に、接点は多くはありませんでしたが、その明るい笑顔は印象的で、鮮明に覚えています。また、本部同窓会の会長となつてからは、運動部出身の彼らしく一生懸命に活動を行

い、持ち前の人柄の良さで、多くの人をひきつけ、同窓会のために多大の貢献をしてくれたのは記憶に新しいところです。

奥様の澄子さんは同じく四十一年同期で、仲睦まじいご夫婦でしたが、葬儀の際の会葬者への挨拶文には、彼への想いがつぶさに表わされていて、心を打たれました。奥様からお許しをいただき、以下にご紹介させていただきます。

### 「笑顔だけを残してゆくあなたへ」

高校時代、野球部でピッチャーとして汗を流していた姿を覚えている方もいらつしやるのではないのでしょうか。当時から夫はお調子者で人気者だったようです。どこへ行っても愛され、沢山の方とご縁を結んで。またそのご縁を何よりも大事にしてきた情に厚い人です。新聞販売の仕事に励みながら商工会の活動にも参加。「川辺会」の会長として関東や関西へ足を運ぶこともありました。最近

創立百二十周年の記念行事に向けて準備に駆け回っていたところでした。目の前のやり甲斐溢れる仕事のため、元気でいようと温泉に通い体を動かして・・・そうやって頑張っていた

矢先の、この別れでした。家族としてはまだまだ傍にいて欲しかったですが、笑顔の面影だけを周囲の方に残していくことができ、夫は今頃満足げに笑っているかもしれません。「皆さんのおかげです」という大きな夫の声が、どこからか聞こえてくるような気さえます。夫 大坪憲市は平成三十年五月二十三日、享年七十一歳にて生涯に幕を下ろしました。お世話になった皆様、本当にありがとうございました。夫との思い出を時折偲んで頂けますならば、それが何よりの慰めです。

(以下略)

憲市君が立ち会うことが叶わなかった、川辺高等学校の創立百二十周年記念事業が、跡を継ぐ人たちによって大成功すること、憲市君の安らかな眠りを心から祈念して、筆を置きます。

合掌

(編集担当メモ)

①ご講演時間は、約五〇分でしたが、このテーマをご講演いただくには短い時間でした。さらに、ご講演の内容すべてを紙面に掲載するには紙面の制約上、ご講演内容を松村教授の了解のもと、1/2程度に要約させていただきました。②この要約された内容を補完していただくために、ご講演参考資料を頂きましたので、資料も併せてご覧頂ければと思います。③ご講演のはじめに、同窓会会員が興味を持って頂けると思われる、初代岩崎校長と母校創立記念日についてご紹介いたします。④島津斉彬公については、参考資料と重複する部分は、極力割愛させていただきます。

川辺高校、昭和四十六年卒の、松村と申します。

今年NHKの大河ドラマが「西郷どん」で、私の歴史の専門と云うことでお呼び頂きました。

テーマは、「西郷を育てた名君 島津斉彬」を頂戴しています。本日はレジュメがありませんが、話の内容を大きく三本にまとめ、三の数字に拘りお話を進めさせていただきます。

### I. 初代岩崎校長と母校創立記念

日

川辺高校の初代校長の岩崎校長の

話をしたいと思います。岩崎校長の名前は、行親「ゆきちか」と読まれます。岩崎校長は初代校長とされていますが、実は校長ではなく、事務取り扱いです。この方は札幌農学校を卒業されています。ご出身地は讚州で、東京英語学校を中退して、札幌農学校の二期生であります。

札幌農学校と云えばクラーク博士が有名ですが、実はクラーク博士は日本には八か月しか滞在していな

### 「西郷を育てた名君 島津斉彬」講演要旨

日時：二〇一八年六月二日(土)

場所：新宿ワシントンホテル 二階 カサブランカ

講師：日本歴史文化研究所教授 松村秀明氏

かったのです。しかも校長ではなく、教頭でした。もともとはアメリカカサチューセッツ農科大学の学長でした。鹿児島出身の黒田清隆にスカウトされ、来日しました。

札幌農学校の校長は薩摩の調所広郷(ずしよひろさと、薩摩藩士)の末裔の広丈さんという人でした。

じゃあ、岩崎さんはクラーク博士の薫陶を受けたかという点、実は受けていません。博士は、一期生の時期にだけ滞在しました。岩崎さんは二

期生だからです。卒業して札幌の役所に勤めました。明治一四年の政変で北海道開拓使が閉鎖になりました。そのため、しばらくの間ぶらぶらしていました。その後、大久保利通の

次男の牧野伸顕(後の宮内大臣、内大臣)に声をかけられ、鹿児島県に加納久宜知事が人材を探しているという事で、岩崎さんに白羽の矢が当たりました。岩崎さんは讃岐く東京く札幌く鹿児島という経緯で鹿児島

に来ました。鹿児島での仕事は、中等教育の仕組み作りです。それで、鹿児島の中(現鶴丸高校)を創設しました。一中の徽章は、中で、一々四中まで同じ徽章でした。岩崎校長がやめて二代目の吉村校長になって、鹿児島第四中学校、県立川辺中学校になりました。吉村喜一郎さんも実は札幌農学校出身で、岩崎さんの七期後輩の九期生でした。恐らく岩崎さんに呼ばれたのでしよう。

何故こういう話をするかというと、以前、この東京同窓会の会長だった、川野重任さん(元東京大学農学部教授、故人)と鹿児島で講演することがあって、その時、川野先生が、「僕は岩崎さんが作った中学校を出て、岩崎さんが作った七高を出て、それから第一高等学校の地(現在東大農学部)で学びました」と言うお話や、「神戈陵」陣が丘のお話をされて

いました。このように、鹿児島県の明治時代中等教育の基盤づくりに、多大な功績を残された、初代岩崎校長は、昭和三年四月二六日に七三歳でお亡くなりになりました。まさに創立記念の日。明治三三年四月二六日。四月二六日が奇しくもおなじ月日でした!

II. NHKドラマ「西郷どん」のお話。大河ドラマで、おかしいところが、随所にあります(編集担当注釈：ドラマですので史実と違った脚色があると思います)。

①上野の西郷さん銅像の除幕式。ドラマの冒頭で西郷さんの妻、西郷糸が上野の西郷さん銅像の除幕式(明治三十一年二月一八日)で「う

う



鳥津十文字(本家)



丸に十文字(陣旗)

②鳥津の家紋。鳥津本家の家紋は、丸に十の字ではなく、十文字紋です。鳥津一族の家紋は七〇余もあります。伝説では源頼朝から初代忠久が授



西郷喜助

人相覚

幕末の西郷らの指名手配書  
安政四年丁巳。老中一全国

ちの主人はこげな人じゃなかった」と叫ぶシーンがありますが、史実と違ってきます。なぜなら西郷系は、徐幕式に参列していないのです。当時の朝日新聞によると、参列者は山県有朋、西郷従道、大山巖(従弟)、谷干城(たてき、土佐)、幕を引いたのは従道の娘三女桜子となっています。銅像作者は高村光雲です。西郷さんは、写真を残していないので、西郷さんの顔を参考にしたのは幕府の指名手配の人相覚だったそうです。

かった、元気がいい筆勢十文字紋。それに丸が付くのは戦での陣旗。鬻紋(鬻つこ)がくつついていない。くつついているのは鳥津製作所の紋)です。鳥津斉彬の日本初の写真には袴に五七の桐紋が付いています。これは天皇家の紋です。斉彬は頼朝の子孫、つまり天皇家の末裔と自認していたのでこの紋を使用しました。斉彬の肖像画はイタリア人のキヨソネ(得能良介・西郷従道の岳父が連れてきた)が画いた。西郷の銅像(城山の下)も、キヨソネが書いた肖像画を元にしました。余談ですが、得能良介(当時大蔵省銀行局長)は西郷の死後、糸さんに今のお金で一〇〇万円を見舞金として持ってきたそうです。糸さんはこれを拒否しました。得能は、代わりにキヨソネの画いた肖像画を持ってきたのです。糸さんが清廉潔白な人と言われている由縁です。

③月照のこと。月照を鹿児島に連れてきたのは、平野次郎です。しかし、薩摩藩庁は月照を「日向送り」に決定。西郷に即日実行を命じました。日向国に入った



安政4年(1857)9.17日本初の写真  
鳥津斉彬像(尚古集成館)

ら、自動的に京都に戻れるのに、月照は観念して海に飛び込ました。私は、海に飛び込まなくてよかったと思います。西郷はなぜ飛び込んだのか。抱き合って飛び込んだのではなく、重野安譚(しげのやすつぐ)によると「ヤケ」で飛び込んだと西郷は言っていたとのこと。しかし西郷は蘇生して、奄美大島に流されませんでした。西郷は罪人ではなく、徳川幕府からはお尋ね者だが、薩摩藩にとっては罪人ではなかった。ちよつと身を隠しておけ、ということに奄美大島に行ったのです。潜居の間に、愛伽奈との間に菊次郎と菊草の子供が誕生したわけです。

話が変わりますが、川辺中学校の第一期生の志願者は四三〇名ぐらいです。そのうち合格者は一〇〇人で、競争率は四・三倍の狭き門でした。その中に一期生で、池田水藻さんという人がいます。陸軍士官学校を卒業し、陸軍大学校に行き、最後は陸軍少将まで上り詰めました。その他にも、多くの逸材が輩出されています。今はどうでしょう。生徒数が減少し、どげんかせんといかん、という気持ちです。

### Ⅲ. 鳥津斉彬の話

斉彬は文化六年(一八〇九年)、鳥津氏二七代当主斉興と池田周子の間で長男として生まれました。四八歳で早くに亡くなりました。藩主になったのが四三才。名君と言われるながら、なぜもつと早く藩主になれなかったのか。ポイントが三つあります。まずは親爺斉興の関係です。斉興が現役でないに従三位は貫えなのでは、となかなか退かなかつたのです。二つ目は斉興は弟の久光を藩主にしたかったと思います。三

つ目は幕府が渋っていたことです。老中の阿部正弘ら幕閣がストップをかけた。

斉彬は二六〇余藩の中で一等優秀でした。優秀だったが故に、この人が藩主になったら幕府が壊れるという懸念が幕府側にありました。何が優秀だったか。まず①嶋津家という名門で人望があり人格者であった。

②物理化学が詳しい、理系に強い藩主は皆無でした。③「人選力」この三つです。斉彬が薩摩藩主になったらやばい中では殿様になり、次の三つを大切にしました。①「砲」②「船」は砲と軍艦を持って軍事力をつけること。③「人」は人を集める事。この中に「西郷どん」のような人物（最下級の者）がいたので。山本権兵衛が「まず人だ、その後から砲がついてくるし艦が付いてくる、これさえあれば天下をとれる」と斉彬はいつも言っていたとのことでした。徳川家に代わる政権を奪取したい、が斉彬の目的（もくと）でした。人的兵站（じんてきへいたん）とは、西郷・大久保らの下級藩士です。従来の藩主は、家老・若年寄・大目付など上層部しか使いませんでした。斉彬はいきなり、下士に手を突っ込

んだのです。下士の連中が鹿児島では桜島のマグマになりました。前代未聞の抜擢人事です。殿から声をかけられたら一生懸命に鉄砲玉になる。鹿児島は郷中（ごじゅう）教育が盛んでした。郷中頭の西郷は影響力の強い人でした。郷中には鉄砲玉になるような人も多かったです。それが下加治屋町の七十軒は団結力があり、明治維新で出世した人が多かったのも、西郷のおかげでした。不幸にして西南戦争で二つに分かれてしまったが、残った人たちが頑張って明治時代を作っていました。斉彬は、この「人的兵站」に重要な西郷をスカウトしたのでした。

斉彬の意（遺）志「順聖院様御深意」は久光、忠義らに継承され、西郷らがこれを実行し、徳川政権を倒し、明治維新を成功させました。下地は全て斉彬が作ったものでした。なお、「砲と艦（ふね）」は、大英帝国の世界戦略でした。しかし、斉彬はこれに「人的兵站」を追加した戦略をとったのでした。

この事が、西郷らを育てた、名君島津斉彬たる由縁であります。ご清聴ありがとうございます。

## 「特別講演」参考資料

### ○幕末薩摩の内訌

一〇代藩主・嶋津斉興の次は、正室・池田周子が生んだ斉彬か、妾由羅の生んだ久光かの跡目争いが起こる。久光派は「斉彬は曾祖父・重豪に似て蘭学狂い。藩主になれば洋式事業を起すというではないか。洋式事業には巨額な藩費が入用。斉興、調所広郷が債務を血の滲む思いで解消した。またぞろ巨大債務を抱え込み元の木阿弥（赤字）になる」と懸念した。一方、早くから名君の名を忝にしている斉彬の登場を願う（薩摩藩では酷い生活を強いられ、鬱憤のマグマが溜まっている下士中心）派がいた。その抗争の最中、嘉永二年十二月、斉興は「斉彬派」を弾圧した。日置・嶋津家の赤山鞠負ら十三名が切腹、遠島など多数を処罰した。嘉永朋党事件（由羅騒動）という。同四年斉彬が藩主となり、終息した。

\* 鹿児島では、粛清された斉彬派は由羅を「奸女」と罵倒、久光を「ジゴロ」と蔑み、怨念の燠（おき）は今日も引き摺っている。

### ○斉彬の謀略（西郷らの選抜）

岩波新書『西郷隆盛』の著者圭室諦成（たまむろ・たいじょう）。東大国史学科卒、明大教授）は「斉彬は軍隊を近代的に装備することに成功し、・・・軍隊をバックに中央進出を企図し公武合体の旗印のもと幕府と朝廷の間にわけり日本制覇という野望実現・・・」とある。徳川政権篡奪を狙う斉彬、まず鉄砲玉になる最下士の「側人」の奪取にかかる。郷中（ごじゅう）の頭を、人的兵站として鹿児島城下三十三郷中から探させた。身分制が峻厳な薩摩藩で最下士（御小姓与。三〇九五家ある）を藩主「側近」に据えることは前代未聞。斉彬の深謀遠慮によるものである。斉彬の養育係をしていた関勇助が関の塾生、西郷（下加治屋郷中、七十家の二才「にせ」頭「がしら」）を推挙（理由は不明）、採用された。

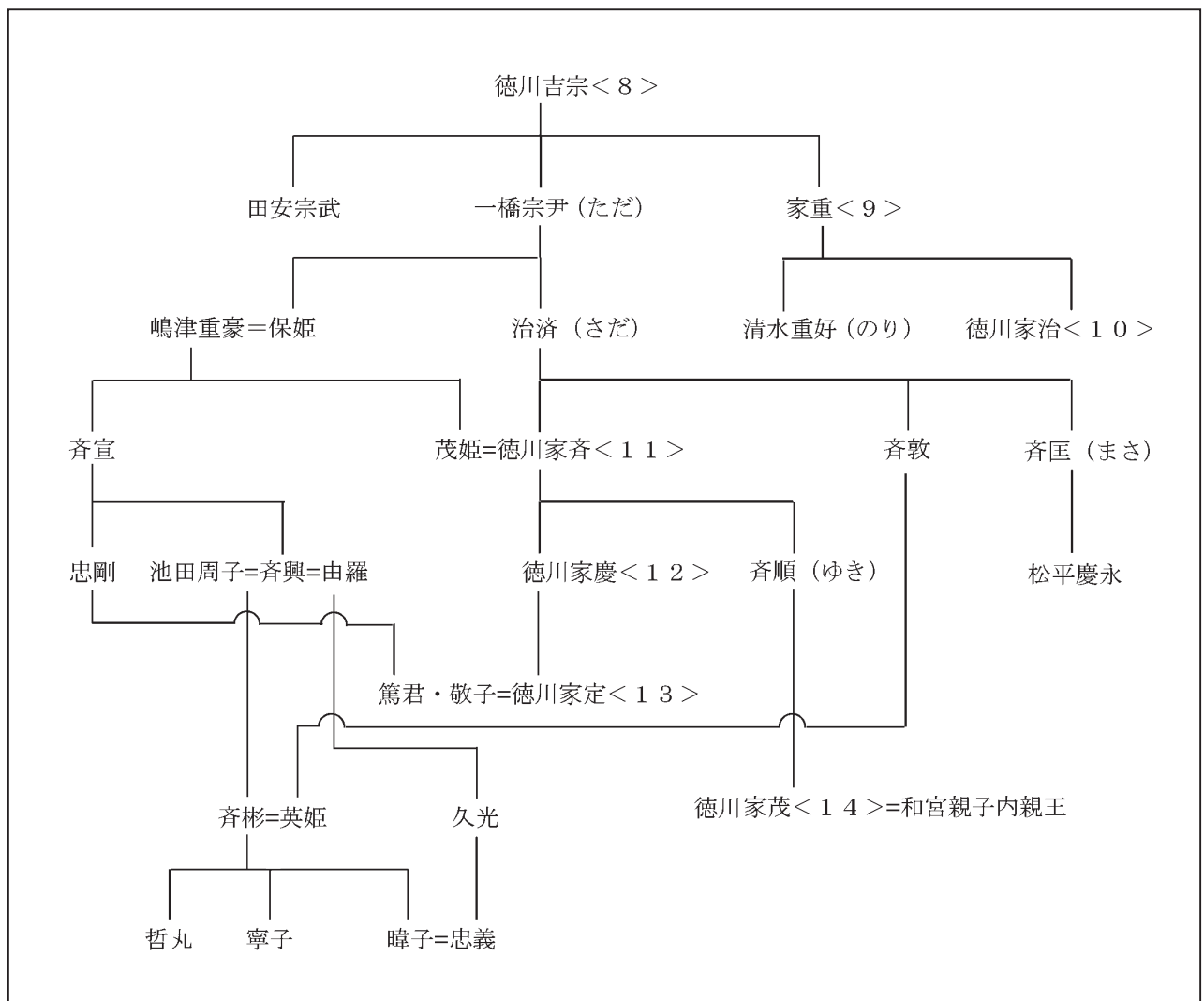
\* 西郷が農民の惨状を綴った嘆願書に斉彬の目が止まって近習（きんじゅ）に採用した、と云うがそれは有り得ない。薩摩藩以外の藩主も下士の意見書は一切読まない。

さて、斉彬は二百六十余藩の中で「一等の藩主」と噂されながら、襲

封が四十三才とは遅すぎる。一因は先の「嘉永朋党事件」がある。それより、圭室諦成の本で指摘しているように、斉彬の「日本制覇の野望」を幕府が警戒、つまり、彼が藩主になれば、徳川政権が崩壊すると幕府要路（老中、若年寄など。特に幕府のエース・阿部老中は斉彬を知悉していた）が大変懸念したためと考えられる。江戸城では斉彬の人物、学殖（海外知識、理化学の理解力）は誰よりも優れている、は有名だった。薩摩藩の内訌、斉興の「従三位」所望に絡ませ斉彬の襲封を延ばしに延ばした。その斉彬が藩主になる。怨念を爆発させた。異国船が日本沿岸に頻々と現れていることを奇貨とし、幕府に海外の脅威、国としての防衛力増強を提言。斉彬も勝手に集成館（軍需工場）で大砲、銃弾製造、軍艦（当時、英国の「砲・船」が世界戦略）を建造開始。一子（かつこ。篤姫）の第十三代將軍・徳川家定との婚姻も奏効（將軍岳父の立場は有利）。「磯浜の集成館を軍事施設化し、徳川政権に代わり嶋津が天下を取る」と目論む。不平不満を募らす郷中教育で鍛えた下士の西郷らの「徳川打倒と云う若い力」が漲っている

精鋭も揃え、「砲」「船（戦艦）」「兵」の本柱が七年半の在任中にできあがった。安政五年七月、三千名の薩摩兵士にライフル銃を持たせ軍事訓練をし、上洛の矢先、斉彬が急死。六名の男児は夭折しており斉彬の血は絶えた。何故こうなったか説明不可。その後、斉彬の意（遺志）「順聖院様御深意」として西郷らに継承され、徳川幕府打倒につながった。

○徳川・島津家関係系図 <数字>は將軍順位



# 特別寄稿

## 「神戈陵」の命名者

前川辺高等学校長 東郷 孝仁

東京同窓会の皆様、川辺高等学校在職中は大変なご支援をいただき、心から御礼申し上げます。また、前川辺高等学校同窓会長大坪憲市氏の突然の訃報に接し、心から哀悼の誠を捧げるとともに、ご冥福をお祈りいたします。

さて、本稿では「神戈陵」と命名した旧制川辺中学校第七代山崎来代矩(やまさき きよのり)校長(写真1)：(一九一八年(大正七年)六月二十九日～一九二二年(大正十一年)四月二十九日在任)について紹介します。校庭の彼方に立つ、神戈



7代 山崎来代矩先生  
大正7年6月29日～大正11年4月29日(在職376日)

写真1

ことなどを述べていました。それは、旧制中学校の先輩二反田益美氏から聞いた話として、野球部後援会報(昭和五八年十月一日第八号)に掲載されています。このことから神戈陵という名称は、開校当初からあったのではなく、山崎

陵は、陣が丘とも称し、もともとは陣城と呼ばれた田部田城の一部でした。この丘陵を神戈陵と呼ぶようになった起源についてお話し

す。校長室に『神戈陵魂』平成六年(一九九四年)六月。一年四組文化祭と書かれた冊子がありました。当時の一年生が「神戈陵魂とは何か」を考えようと企画し、卒業生に手紙を出し、その帰ってきた返書と、当時の先生方の寄稿文、生徒たちの所感をまとめたものです。この冊子の中で、神戈陵の起源について卒業生

で野球部OBの東襄(ひがしじょう)さんが、山崎校長が赴任して陣が丘と呼んでいた丘陵を学校精神統合の象徴とする意図をこめて「神戈陵」と改名したこと、禪宗の僧侶でもあった山崎校長が精神修養のために週一回講堂で座禅を組ませていた

校長が赴任した大正七年の頃に命名されたものとわかりました。一九一八年頃が神戈陵誕生

の年、則ち今年で命名百年となります。

その後、「もつと決定的な史料はないのか?」と思

い、同窓会資料室にある展示史料を調べました。そこで発見したのが、写真2の史料です。この史料を発見した時は、思わず心の中で「やったあ!」と思いました。校地の西北隅の丘陵を陣ヶ岡と呼び、校庭を矢石ヶ原と称す。蓋し古戦場なり。今、字音に因みて陣ヶ岡を転じて神戈陵と名づけ、校友会雑誌の題号とす。神戈の二字は、魏の曹植の徳論中、(曹植は詩人で、曹操の三男、魏の初代皇帝曹丕そうひの弟)「神戈遙かに指す。則ち、妖気は靈旗を順制し、一挙にして、則ち、朝陽に播越するを」より、これを採れり。

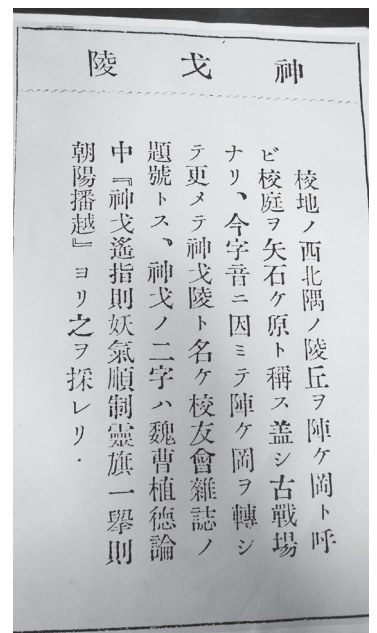


写真2

大意は次のようなことでしょう。(川辺高校の)校地の西北の隅(すみ)にある小高い丘陵を陣ヶ岡と呼び、校庭は、矢石ヶ原と呼んでいる。思うに、遠い昔に戦いのあった場所であろう。今、漢字の音が同じことにちなんで、陣ヶ岡の名称を改めて、神戈陵と称することにす。そして(川辺高校の)校友会が発行している雑誌の題号とする。神戈の二字は、中国の三国時代の魏の国の人曹植(そうしよく)の「徳論」の中にある(次の文言から採った)神戈(かみのほこ)は、遙か遠くを指し示していた。妖気(怪しげな気流)が、靈旗(靈妙なる旗)に従って、一氣に山の東の彼方に霧散し消え去っていくのを。(前後の文章が不明なので、解釈に限界があります。)この資料は、写真3に示す『鹿児島県立川邊中学校概覧』の中にあつたものです。今で言えば、学校案内パンフレットにあたるものですが、その中に神戈陵の由来が記されていたので

す。このことから神戈陵の呼称は、改めて大正七年頃、山崎校長によって始められたことがわかります。それでは、なぜ山崎校長は、陣が丘の名称を変えたのか？当時の社会状況を見てみましょう。

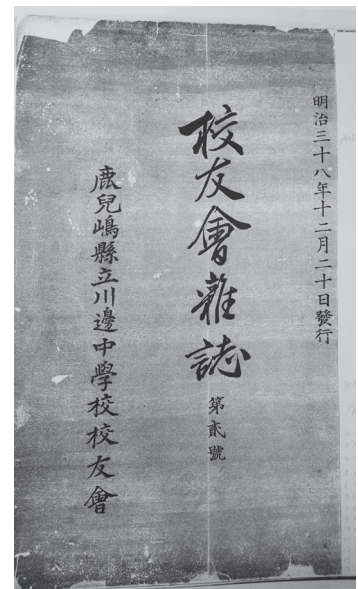
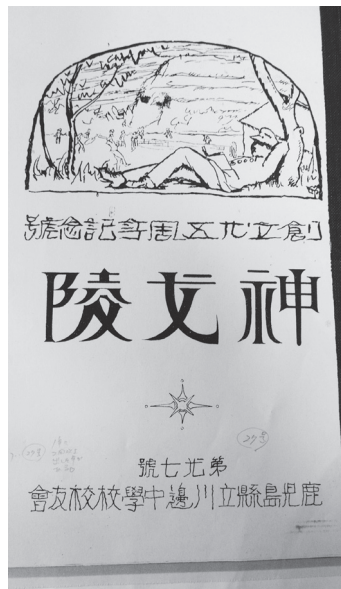
大正七年から大正十年…①第一次世界大戦↓大戦中の好景気ははじめて、一気に反動恐慌が起こる。②ロシア革命↓ソビエト社会主義連邦共和国成立、新しい価値観の国家が出現。③米騒動↓深刻な不況。④シベリア出兵。⑤女性運動の展開と社会進出。大正デモクラシーの進展：等

この時代は、何と言っても第一次世界大戦後の不況が日本を襲い、世界史上初めて、社会主義の国家ができるなど、それまでの旧体制的価値観が崩壊し、民衆に多様な価値観が



写真3

芽生えてくる時代です。加えて明治当初に、約三五〇〇万人だった日本の人口は、約七九六万人（第一次国勢調査一九二〇年実施）となりました。不況と人口増で、旧制中学校に入学したからと言って、将来が保障されているような時代ではなかったのです。先行き不透明な時代と言えます。そのことは、当時創立して二十年近くが過ぎ、もしかして、やや創立当初の気魄が希薄になりつつあったかもしれない当時の旧制川辺



ことから、あくまで推論ですが、創立二十周年を控えて、校長として学校の名物でもある「陣ヶ丘」を、「神の戈が眠る陵墓」(即ち、「古戦場として侍たちが戦った勇者の眠る丘として、君たちは、そういう歴史ある丘陵の傍らで学んでいることに誇りを持ちなさい」といような願いを込めて神戈陵と改めたのではな

いかと私は考えています。

中学校生にとつて、漠然とした将来への不安が増している可能性があります。若いエネルギーが、在校生同士の喧嘩や公共物破損等の方向性に向いていた可能性も推測されます。

このように、そして、生徒の精神修養のために講堂で座禅を組ませたのです。私たちの座右の銘である「弘毅正大の心、競進優越を期す、不断刺激を新たに、忠実奮って自学せん。」の言葉は、このとき講堂に掲示されたのではな

いかと思われま

即ち、第七代山崎校長は、神戈陵の命名者であるとともに、座右の銘の作者であった可能性が非常に高いと言えま

同窓会のみなさん、川辺高校は希有の歴史を持つ誇り高き学校です。この学校で学んだことに改めてみなさんが自信と誇りを持って絆を強くされますことを期待して擲筆いたします。最後まで一読いただきありがとうございます。



読書される山崎校長

# 陵友だより

—西郷どんに想う

## 「継承」

昭和二十三年卒  
(美術部員)

田口精一

S子よ、初日も迫って来たね。役づくり、うまく行ってるかい。この間は久し振りに会えて楽しかったよ。稽古場の片隅で針仕事の君に声を掛けなくなった「ソレが苦手で、この世界を選んだらうに。おやつとさア」笑顔の君。思わず、調子にのり問いかけた。「同郷人として教えてほしい、『西郷どん』とは？」と問われたら何と答える「一寸間があつて君は答える「敬天愛人」流石お見事。「では、何故『いま、この番組なんだろう』」意地悪ではない、若い世代に聞いてみたかったのだ。……沈黙「今年、明治一五〇年なんだって」。

そして、言葉の端ばしに秘められた人生と想いを何処まで想像できたのかが役づくりの基本だともね。付き合いの浅い人から、積年の盟友の様に紹介されたら当然、怒るよナ。でも許して仕舞う。お互い忙しいんだ、争うのは大人げないってね。然し、矢張り知る努力はして欲しい。親友との出逢い。恋人をもっと知りたいと願った頃の自分。時を忘れ、誠実に相手の言葉に耳傾けていた。疑念、対立、増悪。別離も考えた時もある。然し、本物との出会いは決して手離してはいない。僕たち世代は、身に泌みて、味わい、育った。事実から学んだ。上意下達、義を言うな『黙想』と称する私的制裁を愛の咎と耐えた『郷中教育』は、今、パワハラ。俺たちは騙された、被害者と自らの加害責任を逃れた大人たちが居て。依然、弱肉強食は続く。五年后には、世の中AIとロボットに職場の55%が管理されるとか。人としての生甲斐は何処へ行くのだろうか。「敬天愛人」は記録で終るのだろうか。語り部として、伝えたい事が一杯ある。いまま少しお付き合いの程を。

## 「西郷どん」で考える

昭和二十三年卒  
(美術部員)

田口精一

生き残りの戦中派にとつて「わげエーたいの西郷どん」は畏敬を通り過ぎ象徴的存在なのである。従つて、他処者の口から軽々に語られる事に少なからぬ拒否反応が生ずる。戦后、転校して来た、謂わゆるハーフの私ですらそうなのだ。但し、西郷どんの銅像は、誰が何と言おうが城山の軍服姿ではなく、犬を連れて着物姿でなければならぬ。わが国の近代化に大きく貢献しながら、悲運の最期を遂げた英雄は、文字通り判官鬚の日本人の心を捉えて離さない。

然し、ご当所の端つくれである私の心は、高揚の度が増すに連れて滅入っていく。まるで、前科者が古疵に触れられるかの様な心境に陥るのである。そして何処からともなくなく「ほんのこてエ、此いでヨカとねー」の声に包まれる。西南の役での死者は両軍合わせて二万と伝えられ、周辺の生活は大きな被害を被る。「江戸を戦火から救ったお人が、何故」祖父の伝聞を確かめるべく、平成の人吉に向かった。田原坂で左手を負傷した少年の祖父は、此処で、西郷どんから帰郷を命じられた。哀訴する少年に「生きて子を成すも斗い」と告げたのだ。本営だった寺を出ようとして、傍の石碑が目止まった。鼻塚、耳塚と読める。祖父たちは、これを、何う判読したのだろう。帰途の車中で同行の若者の口から「あの大久保がー」と呼び捨てられ、また、新たな衝撃。関東大震災を女学生として体験した母の口から、自身の方言が朝鮮人と誤認され、危うく虐殺の目に会う処だったと言う報告を祖父たちは何う聞いたのだろう。

烈しい空爆の中、逃げ込んできた朝鮮人労働者を怒号と共に追い出した大人たちと黙って見つめていた私の姿が甦える。賊軍の残党として入牢した祖父は、傷口を撫でながら「斯うして生き残ったから、お前が此処にいる」と微笑した。然し、忠君愛国の鑑として育ち、玉碎していった人たちは、今を何う見ているのだろうか。「敬天愛人」の遺訓を、私たちは何う継承してゆくのか、正に、責任重大である。

## 私とランニング

昭和四十一年卒  
加治佐光徳  
(広島在住)

私は元来運動は不得手だった。小中学時の運動会の徒競走ではいつも後塵を拝するばかりで、親の落胆と同級生の失笑を独り占めすることが常だったので、雨天中止を願っていました。願いに反して秋晴れの絶好のコンディションの中賑やかに行われ、風を切って走る同級生が賞品を手にする姿に嫉妬したものです。

そんな私に転機が訪れたのは、川辺高校二年の時でした。昭和三十九年の東京オリンピックの国内聖火リレーの随走員選考のため千五百、三キロメートルを結構真面目に走るうちに自分に適しているのではと、少し自信めいたものが芽生えたように思います。加えて、オリンピック前年に島野洋夫コーチと銅メダル獲得の円谷幸吉選手が川辺高校を訪れ講演を聞いたことも一因になったと思います。本番の聖火リレーの随走メンバーに選ばれたものの、多分、加世田方面へ向かったものと思われませんが、何処から何処まで走ったのか私自身の記憶も曖昧で、写真や記録、委嘱状などが無いため残念至極です。

その後は二十九歳までは走ることに疎遠になり、喫煙と飲酒の日々を過ごしましたが、風邪をひき扁桃腺を痛めたのを機にタバコを止めてランニングを再開、徐々に走る距離と練習回数を増やして、大会へも参加するようになりました。「継続は力なり」の諺どおり、年々タイムが良くなり、ますますヒートアップします。汗をかいた後の爽快感とピールの格別の味が忘れられず、ランニングが日常生活の一部になり、中毒症状とまで揶揄されるほどでした。

昭和五十二年の第十一回青梅マラソン大会(円谷選手が走り始めた三十キロレース)に出場し、一万人規模のランナーに驚きつつも平成八年まで二十回位参加しました。現役中は休暇が取りにくいので、土曜日の夜行バスで上京して、走った日の夜行バスで帰広して勤務したこともありました。いつかはフルマラソンを走りたいという気持ちが強くなりましたが、昭和五十〜六十年代は、福岡国際、別府大分毎日マラソンのような実業団選手などのエリートランナーの大会が多く、我々市民ランナーが参加出来る大会は少なかったのです。それでもフルマラソンへの

願望は増すばかりで、近くの岩国、防府、鳥取での大会を走っていました。更にフルマラソンを完走するばかりでは満足せず、三時間を切るタイムで走ることが目標になり、ひと月に六百キロ以上の練習をして念願だったサブスリーを達成することが出来ました。

平成になると、東京マラソンを契機に一万人以上の大規模マラソンが行われるようになり、私の出番も自ずと増えることになりました。第一回東京マラソンは抽選を運よくクリアして参加しました。大会当日は冷たいみぞれの中でスタートまでの一時間近くを震えながら待ちましたが、走り始めると意外とスムーズに体は動きました。雷門・銀座の名所は応援者も多く元気をもらいましたが、佃大橋・青海橋・東雲橋のアップダウンに耐え切れず二〜三度歩き、東京ビッグサイトには喘ぎながらやっとゴール。ゴールタイムには満足できませんでしたが、佐賀の友人と東京駅で完走の祝杯をあげてお互いを慰めた大会でした。その後、東京は抽選漏れの連続で無縁状態です。東京以外では、鹿児島、宮崎、熊本、佐賀、福岡、北九州、下関、高知、神

戸、大阪、京都、奈良、静岡、横浜、金沢、富山、松本などの都市マラソンを、海外は第百回ボストンマラソンを走り、長い時間と多額の費用を費やしました。

余談ですが、私は各地の大会に小学生の息子を連れていき、二〜三キロを走らせていました。その走る姿を見て育ったのか、中、高、大学の十年間(大学時は東京六大学野球の投手)は野球漬けだったにもかかわらず、走ることを続けていたようです。親子で横浜マラソンを走り、息子に一時間近く遅れてゴールして、歳には勝てないことを実感したものです。

走り始めの健康志向から次第に競技志向になり自己満足の域を出ませんが、各地の走友や地元広島島のランナーとの楽しい交友が続いています。



今年（平成三十年）、七十一歳を過ぎましたが、走る意欲はまだ残っており、年内に、松江、大阪マラソンを走る予定です。若い時のようにがむしゃらに走ることは出来ませんが、ゆっくり風景を眺めたり、走友との会話を楽しみ、四時間前後で完走することを目指している現状です。

自画自賛で恐縮ですが、過去の記録を記します。

三十キロベスト  
一時間五十五分二十一秒（一九九三・平成五年）  
四十五歳七ヶ月  
第二十七回青梅マラソン

フルマラソンベスト  
二時間四十六分〇五秒（一九九四・平成七年）  
四十七歳八ヶ月  
第一四回日本海マラソン

ボストンマラソン  
二時間五十七分四三秒（一九九六・平成八年）  
四十八歳八ヶ月  
東京マラソン

三時間二十七分五十四秒（二〇〇七・平成一九年）  
五十九歳七ヶ月

以上

### 故郷に思いを寄せて

昭和四十一年卒 霜出節子

私の故郷は、知覧から手蓑に向かう途中の山間の集落です。山々を渡って吹いて来るさわやかな風、清々しい美味しい空気、忘れることが出来ません。

両親が亡くなって、岡山で暮らす弟夫婦が、たまに田舎に帰った時泊まれる様にと、十数年家の管理を頼み維持してきました。その弟が昨年



知覧上郡矢櫃橋から手蓑峠の方を望む

亡くなり、義妹から南九州市の売家バンクに登録しても良いかと言ってきました。あんな田舎のボロ家、売れる訳がないと思いましたが、でも子供たちの代になったら、朽ちて廃虚となってしまうと思いつ成しました。数か月過ぎて義妹から、買いた

い方がいると市から連絡があったと、エエッ本当に、しかも現在は愛知県に住む三十代の方との事、びっくりです。良かったね。過疎の村に人口が増える訳だし、家も廃虚にならずに済むと義妹と喜び合いました。しかし店もない、学校も病院も遠い、南九州市はちゃんと説明したのかと心配にもなりました。でも市が間に入っているのだから、大丈夫なのだろうと思う事にしました。

．．．でもこの押し寄せる寂しさは、何なのだろう。帰る家が無くなると言う事は、故郷が無くなるに等しい。色々な思いが走馬灯の様に巡り胸がいっぱいになり、涙があふれます。

しかし七十歳を超えた今、年金暮らしの今、現実として故郷は遠くなりました。

空青き故郷、緑多き故郷、満天の星空、そして、空気も水も美味しい

故郷は懐かしくいつまでも私の心にあります。

遠い故郷に思いを寄せながら、今を大切に、元気に暮らしたいと思えます。

### 懇親会に参加して

平成三十年卒 上原大平

私は六月に行われた懇親会に、同じ年に卒業した友人たちと四人で参加してきました。参加して感じたことは、はじめに壇上上がり挨拶をしたとき、多く参加されてる大先輩方がとても優しく、温かい拍手で迎えてくださり、私にとってとても意義のある時間になったと言うことです。卒業する前、先生方が「同窓会には参加した方がいい」と口を酸っぱくしておっしゃってた意味がわかりました。

懇親会に参加して思ったことは、辺高を卒業された方はそれぞれの分野で幅広く精通されていることです。そして、そのような方々が私にお声をかけていただき、少々お話しさせていただけました。少しでもお近づきになれたことは私や友人にとって、とてもありがたいことだなと感じました。中には弁護士をされてる方が、

私の未来像を聞き応援してくださると言っていたが、さらには、少しでも力になりたいと言っていたが、ありがとうございました。

そのほかにも、ボランティア活動を進める団体に所属されている方や、保健センターに務めている方など幅広く多くの方にお声をかけていただきました。

こんなにも多くの方に期待され、自分の夢を応援してくださる方がいるということは、とても心強く、これから先の学問への励みになります。そして何より、多くの大先輩方と同じ空間で、同じ時を過ごせたということが何にも言い難いひとときで、来年、再来年とこれから先も都合を合わせて参加したいと強く思いました。

## 慣れない生活と故郷

平成三十年卒 中村明日香

私が東京に来て新たな生活が始まり、半年が経とうとしています。周りには畑や田んぼがあり、緑あふれすぎる田舎で育った私には、馴染めない日々が続きました。もちろん畑や田んぼを今現在の生活の中で見ることはなく、高い建物が立ち並び、

多くの人々が行き交う姿を見て、なんだか寂しい気持ちになりました。

そんなこんなで過ごしてきた私は、学校で毎日のように、新しい事を学んで休みの日には、機材を借りて復習をしたりと学校生活にも慣れてきました。余裕のある時にはバイトをいれて使ったことのない路線や駅を使い、今度は遊びで来てみようかなと、東京での生活にも慣れてきていました。しかし、たまにふと思うことがあるのです。何かがつくりこなくて、心に少し小さい穴があるような感じがして、友達と話している中でも「何かが違う」と、ボーっとしてしまうのです。あまり深く考えないようにして、その気持ち無視してきましたが、最近になってこの気持ちは何なのか分かりました。それは、故郷鹿児島が実家が恋しいと思う気持ちでした。六月に高校の東京同窓会に参加させてもらい、上京したばかりの不安を、親しんだままりや話が飛び交ってほっと安心させてくれる思いと同時に夏休みの帰省が楽しみと思えました。この原稿を書いている私は、八月には帰ることができず、帰省はこれからとなります。だからこそ余計に、鹿児島を恋

しいと思ったのかもしれませんが。私にとつて鹿児島は、落ち着く場所であり、大切な場所だとあらためて実感しました。



## 夏休みの社会科歴史研究

### 薩摩藩と西郷隆盛の一生

中学二年 大野僚太郎

(編集者メモ)

大野僚太郎君は、橋本起世子(昭和四十一年卒)さんのお孫さんです。中学一年生の夏休みに、おばあちゃんの故郷鹿児島での夏休み自由研究をまとめました。長文ですので、「せごどん」の部分を選択して掲載させて頂きました。

東京の大野君が、薩摩藩と西郷さんについて、どの様に思い、まとめたでしょうか。

## 【目次】

### (はじめに)

薩摩藩とは、江戸時代に薩摩・大隅の二か国及び日向国諸県の大部分を領有し、琉球大國を支配下に置いた藩。現在の鹿児島県全域と宮崎県の南西部を領有していた他、間接的に沖縄県の大部分を支配していた。

藩主は島津氏。外様大名でありながら琉球を含めた最高石高は九十万石(初高であり、実際の玄米高は約半分)と加賀藩につぐ大藩を形成した。幕末から明治維新にかけて、西郷隆盛や大久保利通などの有力政治家を数多く輩出し、第一世界大戦までの日本政治を支配した。藩閥政治では(薩摩閥)と呼ばれ長州藩とともに有力な政治勢力を形成していた。

1. 島津藩の発展：(割愛)
2. 鹿児島・磯地区：(割愛)
3. 西郷隆盛の一生

「調べることに使ったもの」

- ① 集成館に行つてメモをする。
- ② 磯地区周辺のパンフレット
- ③ 幕末・維新群雄のビジュアル百科

### (西郷隆盛の一生)

生没年 一八二七年～一八七七年

出身地 薩摩国 身分 薩摩藩士

薩摩藩の下級武士だった西郷吉兵衛の長男として、鹿児島の下加治屋町に生まれる。十八歳の時郡方書役助という役につく。これは農民が税金として収めるお米の出来高を見積もる仕事で、今の税務署の書記係。隆盛は農業政策をよりよくしようと書類を藩の上層部にあげ、これが藩主斉彬の目にとまった。隆盛の地位が低かったため、本来なら無視されるはずだったが、藩の改革について真剣に考えていた斉彬の考えと重なっていたことから取り上げられ、次第に隆盛は斉彬の側近として活躍するようになる。

隆盛は、斉彬が十三代將軍徳川家定の跡継ぎをめぐる政治問題に、一橋慶喜をおし一橋派としてかわつたときも、その手足となって活動していた。しかし、井伊直弼が大老になると、一橋派を弾圧する安政の大獄が始まり、時を同じくして斉彬が突然死去してしまう。一橋派として動いていた隆盛も弾圧の対象になるはずだったが、幕府から命が下る前に、藩主後見となった島津久光によって奄美大島に流された。これは、薩摩藩が隆盛を幕府に差し出さない

で済むようにあえてこのような処罰をしたと考えられている。二年後、隆盛は久光に呼び戻され、上洛の先発を命じられるが、命令を無視したため、再び、島流しされる。二年後あらためて久光に呼び戻され上京し、薩摩の京都代表となる。長州藩が京都の御所を占領しようとした禁門の変では、長州兵を京都から追い払った。

次に第一次長州戦争の参謀につき、長州藩の力をそぐ準備を進めていた頃、勝海舟、坂本龍馬と出会う。外国の圧力とそれに対抗する海防問題を理解した隆盛は、考えを改め説得して戦いを終わらせたという。その後も、藩のなかで大きな発言力をもっていた隆盛は、時代の変化を受けて幕府と戦う事を決めた。龍馬らの助けで長州藩と薩長同盟を結び、幕府による第二次長州戦争を失敗させる。

幕府が大政奉還で朝廷に政権を返した後、さらに幕府軍を相手に戦いを始めると、隆盛は新政府側の最前線で活躍した。一八六八年島羽・伏見の戦いでは数による圧倒的な戦力差をひっくり返して、旧幕府軍に勝利をおさめる。その後新政府軍の参

謀となって江戸に進軍。

勝海舟と話し合い、江戸城無血開城を決めた。明治新政府のもとでは、参議という重要な職につき、藩籍奉還や学制改革を進めるが、一八七三年征韓論争に敗れて政府を去る。

その後、鹿児島に帰って作った私学校が巨大化して一大反政府勢力となり、西南戦争をまねいてしまう。隆盛は、生徒らを率いて戦うものの、ついに敗れて自ら命を断った。

### (薩摩藩の考察)

薩摩藩や長州藩、のちに新政府をつくりあげていったが、今回、薩摩藩を調べたことで、薩摩藩は海外の技術を他の藩よりいち早く自分のものにする他、成功するかかわらないような改革を行ったりして、海外に追いつこうとしていた。そのために、反射炉や造船所、集成館機械工場など色々建てていた。そのおかげで、薩摩藩は豊かな国へと作り直せたのだなと思えました。

また、この努力は凄いなと思います。

西郷隆盛は、下級武士だったが努力して少しずつ位もあがり、今の偉人にもなるほど有名になったのだな

と思えました。西南戦争に敗れ、隆盛の死体が発見された時、政府側の総司令官がいつまでも黙祷した事や、生きている噂も流れたことから、西郷隆盛は色んな人々から尊敬されて、慕われていたのだなとおもいました。島津斉彬が長生きしていたら、隆盛はもっと日本のため働いて、現在の日本とは違った国を作っていたのかなと思います。戦争もなく原爆も落ちなかつたかもしれせん。僕にも、鹿児島島の血が流れているから、隆盛みたいに自分より弱いものには優しく、悪いことには立ち向かっていけたらと思います。





前橋 竹之 (昭和二五年卒)

- 一. 啓蟄や押せば引つ込むボールペン
- 二. 野仏のふはりと羽織る春の雪
- 三. 剪定の空ととのへる武家屋敷
- 四. 朧夜の富士となりゆく窓辺かな
- 五. ペンギンの直立歩行かぎろへる

大平 政弘 (昭和三四年卒)

- 一. 風光る高く帆を張る日本丸
- 二. めざし焼く家族五人の頃ありし
- 三. 小春日や児が手を伸ばし鳩を追ふ
- 四. ダリの絵の時計の如く海鼠かな
- 五. 棟上げの投げ餅高し日脚伸ぶ

南谷 恒英 (昭和三六年卒)

- 一. 一句添え思わぬ人の賀状かな
- 二. 水切りに無心の子おり水温む
- 三. 春の泥着けて八十路のボール蹴り
- 四. あの瘦せた石塊の畠敗戦日

畠野 修一 (昭和三六年卒)

- 一. 花を追う行方もどかし春の蝶
- 二. 野も山も青葉若葉の大うねり
- 三. 木道に響く靴音草紅葉
- 四. 落葉松の音なく散りて積もりけり
- 五. 手拍子にはにかむ親子酉の市

堂園 俊秋 (昭和三八年卒)

- 一. 何想うことなきよけれ宵の春
- 二. 空蝉や飛翔の備えの力あり
- 三. 囁いて呟く風やそぞろ寒
- 四. ふと笑う眠る赤子や秋真昼
- 五. 湯たんぽや夢の続きの温みあり

森山 昭利 (昭和四一年卒)

- 一. 来し方を無窮花(ムクゲ) 彩る高麗の里
- 二. 枝先に暑さよるこぶ百日花
- 三. たそがれに放つ色香や醉芙蓉
- 四. 風の間で友の声聴く彼岸花
- 五. 雪柳滝さながらに咲きこぼれ

有園 茂矢 (昭和四五年卒)

- 一. 花菖蒲明日は見えない今薫れ
- 二. 時は今そうめんつゆを恋しがり
- 三. 都会にも唐船峡のツユおくる

椎原直子 (昭和四八年卒)

- 一. 水鏡織り成す苗に青を足し
- 二. 何故逝きし仰ぎて問うは澄みし空

# 神戈陵 俳壇・歌壇



松永 郁代 (昭和四〇年卒)

- 一. ふとおもう土石流の恐ろしさ  
人災ありきふるさとの過去
- 二. 昨今の気候の変化いかがかと  
春・秋なしや日本の四季は

橋本 起世子 (昭和四一年卒)

- 一. ベランダでグラス片手に見る月は  
赤銅色に輝くジュエリー
- 二. 街路樹が青々とした若葉つけ  
春を呼ぶ声雑踏に聴こゆ
- 三. 朽ち果てた廃虚の街に立ち  
いにしえの声ざわめきあふる
- 四. ラッセーラの掛け声響く星空に  
ねぶたの花がいつせいに咲く
- 五. 夕暮れに君を見舞いて帰る道  
いつしか草木に甘露宿りし

ペンネーム稔峯 (昭和四一年卒)

- 一. 夕焼けに真つ赤に燃ゆる曼殊沙華  
母の想いに重なり映える
- 二. 街路樹の片隅に咲く石路に  
遠い故郷の亡き母思う
- 三. いつの間に紅い実つけし釣花に  
冬の気配の朝の街並み
- 四. 清らかに利根の川面を吹く風に  
揺れる紅色曼殊沙華
- 五. 黄金色たわわに稔る稲穂の実  
唸るコンバインに白鷺舞い立つ



稲刈りのコンバインの周りに群がる白鷺・イナゴが目当て

## 年度幹事より

## 昭和五十年卒業

畠中 耕一

本年度、第四十二回東京同窓会が六月二日(土)新宿ワシントンホテルで開催され、一八〇名の方々に参加して頂きました。十一時より日本歴史文化研究所松村秀明教授(昭和四十六年卒業)の特別講演「西郷を育てた名君 島津斉彬」が開催されました。NHKで放送されている「西郷どん」のストーリーは虚実が多い、初回の上野の銅像の除幕式に妻の糸子が参列している設定だが、実は朝日新聞の参列者名簿に糸子の名前は無かった、そんな話を交えて頂きながら島津斉彬が幕末に飛びぬけて優秀な人材だったエピソードを沢山講演して頂きました。その後、歌手ミーナ(小林美千代氏旧姓)庭月野 昭和五三年卒業)オープニングセレモニー(ミニコンサート)が開催され、その歌声に会場はうっとりとなりました。総会は十二時十分から開催され、懇親会は十二時二十五分から開催されました。懇親会では昨年川辺

で行われたNHKのど自慢に出演された方々が「高校三年生」を再び熱唱して大喝さいを浴びました。

今回の同窓会是我々昭和五十年卒業が担当幹事となり受付各行事の司会を務めました。特別講演会の司会には中藺幸男氏、ミニコンサートは宮内建二氏、総会は滝山一成氏と加瀬美千代氏、懇親会は加瀬美千代さんと私が担当致しました。総合幹事は内村哲也氏でした。尚、他の五十年卒業参加の皆さまは準備、受付、後片付けと最初から最後まで活躍して頂きました。最初の講演から懇親会まで大いに盛り上がり、参加された方々から「非常に楽しい同窓会でした。」とお褒めの言葉を沢山頂きました。

来年は五一年度卒業生が担当幹事となります。今年以上に盛り上がると思えますので是非、今回参加出来なかった方々もご参加いただければ幸いです。実はこれまでに四一回の同窓会が開催され続けていますが、私は初めての参加でした。今までは自分が知っている人は少なく、年寄りだけの同窓会と思いき、参加していませんでした。しかし、一八〇名の参加者は各年度から参加されていて、

楽しく昔話に花が咲き、素晴らしい時間を過ごす事が出来ました。

また、参加出来なかった同窓生からのメッセージが総会資料に掲載されていました。その中で昭和十八年卒業の畠中幸男氏からのメッセージがありました。それは私の伯父です。現在、九四歳、横浜在住で、今もゲートボールを週一楽しんでいきます。このように大先輩も同窓会を応援しています。

話は変わりますが、今年、甲子園は一〇〇回の記念大会が甲子園球場で開催されています。この原稿を皆さまが読まれる時には、優勝校も決まっている事でしょう。

我が野球部は、鹿児島県予選で二回戦敗退となりました。しかし選手達には格別の思い出が残ったと確信しています。なぜなら一回戦でなんと鹿児島工業高校に1対0で勝ちました。鹿児島市内の強豪高校に勝った事は、称賛に値する出来事だと思います。二回戦では鶴丸高校に九回サヨナラの大逆転負けでした。九回四から最終回に六点を取られての負けだったので。鹿児島高校野球史にも残る大逆転負けと思います。たぶん選手の悔しさは想像を絶すると

思われます。ただこの経験は必ず今後の人生に活かされると信じています。また隣の薩南工業高校も力を付けています。両校が切磋琢磨しながら来年は是非「甲子園出場」を目標として頑張ってください。

ちなみに三重県の白山高校は十年連続で一回戦敗退後からの甲子園出場を勝ち取りました。奇跡は、高い目標を掲げない限り達成出来ません。是非、来年夏は甲子園出場という高い目標掲げ練習に励んで下さい。川辺高校在学生の学業とスポーツの精進を東京より期待しています。



# 母校だより

## 学校だより

同窓会係 渡辺裕介

夏休みの川辺高校についてお知らせいたします。夏休みは全学年で補習が行われ、生徒は真剣に学業に励んでいます。同窓会のご尽力により尚学舎という素晴らしい施設を活用して、三年生や部活動生が補習期間外でも自習に取り組んでいます。特に三年生は進路実現に向けて朝早くから夜遅くまで一生懸命努力しています。なかには、夏休み期間に早くもAO入試に挑戦する生徒がおり、すでに「受験本番」を迎えています。三年生にとってはこの夏休みが勝負なので、是非頑張って学習に打ち込んでほしいものです。

生徒にとって夏休みは学習だけでなく、部活動にも力を注げる時期です。たいていの部は新チームになり、二年生を中心に活動をしています。夏休みをしっかり練習をして、チームの基礎固めをする大切な時期です。休日は、練習試合や大会に出दैいき、チームの力の向上に努めています。

また、生徒は学習や部活動だけでなく、校外活動にも力を入れています。休みを利用して今年も、一年生のうちから大学等のオープンキャンパスに参加する姿が多く見られました。

他にも川辺祇園祭りなど地域行事のボランティア、県教委主催の「高校生イングリッシュシュートレーニングキャンプ」、二年生は県教委主催で県内の二年生を対象に行われる「グレイドアップゼミ」に参加しました。さらに、五名の生徒が「鹿児島県青少年国際協力体験事業」の団員として、スリランカへ海外研修に行きました。生徒は自分の将来を見据え、さまざまな経験を積極的にしようとして頑張っています。補習期間中では、各大学から教授を招いて出前授業をしていただきました。生徒は大学で学ぶ学問を実感し、興味津々で受講していました。

このように、生徒は各学年それぞれの目標にむかって充実した夏休みを過ごしています。二学期に入ると本格的な受験シーズンが到来します。今後とも母校・後輩へのご支援をよろしく願います。



祇園祭りのボランティア



なぎなた部全国高校総体出場



地元、川辺の名酒から県内ブランド酒まで多数取揃えております。御注文いただければ、即、発送致します。



名水百選の街川辺  
南薩摩の銘酒専門  
**(有)蔵元商店**  
鹿児島県南九州市  
川辺町野崎2579-2  
TEL (0993)56-4566  
FAX (0993)56-3939

本格焼酎 さつま **寿**

### (株)尾込商店

代表取締役 尾込 宜希  
〒897-0215  
鹿児島県南九州市川辺町平山6855-1  
電話 0993-56-0075  
Fax 0993-56-0596



本格焼酎 八幡

### 高良酒造(有)

代表取締役 高良 武信  
〒897-0214  
鹿児島県南九州市川辺町宮4340  
電話 0993-56-0181  
Fax 0993-56-0585  
お酒は20歳になってから

## 手づくりの技

ひとつひとつ真心込めて...



## 仏壇の 瑞光堂

代表取締役 原口 和秋

鹿児島県南九州市川辺町平山6842番地  
(鹿児島銀行川辺支店前)  
電話0993-56-1107  
URL <http://www.zuikoudou.com/>  
Fax 0993-56-4568  
E-Mail [info@zuikoudou.com](mailto:info@zuikoudou.com)

## 鹿児島特産

## さつまあくまき

さつまあくまき本舗

### 有限会社 梅 木

代表取締役会長 大久保 久通  
代表取締役社長 梅木 康博  
本社工場  
鹿児島県南九州市川辺町平山6794  
TEL(0993)56-0126(代)  
FAX(0993)56-1184

☆お客様の繁栄に  
貢献いたします☆

## 五反田印刷

鹿児島県南九州市川辺町平山6997-1  
(鹿児島相互信用金庫川辺支店ヨコ)  
TEL(0993) 56-0078  
FAX(0993) 56-3417

★今、話題のミスト美容

“YOSA(ヨサ)”を始めました!  
ご予約は、お電話にてお願い致します。

YOSA PARK ベリー  
TEL(0993)56-0078

地産地消のあらゆる創想を具現。天然採石ハイブリッド法で住宅地盤が揺る。

## HiSPEED

### 株式会社 加覧組

代表取締役 新谷 昭彦  
(S59年卒)  
〒897-0213  
鹿児島県南九州市川辺町小野1184  
TEL 0993-56-0321  
FAX 0993-56-2173

## 森田建設(株)

本部同窓会 森田 剛(S43卒)  
会 長

川辺町上山田4330  
TEL.0993-57-3321  
FAX.0993-57-3323

## 川辺町 高田郵便局

本部同窓会 高田 政雄 (S48卒)  
副 会 長

川辺町高田355  
TEL.0993-56-1525

JXエネルギー株式会社特約店  
三井住友海上火災保険株式会社代理店

## 株式会社 前野石油 株式会社 前野設備

代表取締役会長 前野 政美  
代表取締役社長 前野 耕作

- 石油事業部 ■ガス事業部
- 車販・太陽光事業部
- 住宅関連事業部 ■損害総合保険事業部
- 車検事業部 車検・板金センター

(国土交通省運輸局指定工場 指定番号 鹿-885)  
本社 〒897-0211 鹿児島県南九州市川辺町両添1026  
TEL0993-56-1336(代) FAX0993-56-3983

伸びる芽に  
水を 光を よき土を

## 社会福祉法人 緑が丘福祉会 緑が丘保育園 こばとこども園

理事長 室屋 徹 (37年卒)  
園長 室屋 正枝 (41年卒)  
〒897-0215  
鹿児島県南九州市川辺町平山2522番地  
TEL 0993-56-1505 FAX 0993-56-1736

## 医療法人 菊野会

整形外科・神経内科・消化器内科  
リハビリテーション科・リウマチ科

介護老人保健施設  
かわなべ寿光苑

川辺訪問介護ステーション小菊  
介護支援 センター  
療育センターあおぞら  
理事長 菊野 竜一  
会 長 菊野 光一郎  
南九州市川辺町平山三八一五  
電話(五六)一一三三五

### 南谷綜合法律事務所

弁 護 士 南 谷 知 成 (昭和36年卒)  
 弁 護 士 南 谷 敦 子 (長女)  
 弁 護 士 南 谷 博 子 (三女)  
 パラリーガル 西 真由子 (平成17年卒)

### 南谷朝子公認会計士事務所

公認会計士 南 谷 朝 子 (二女)  
 〒810-0041  
 福岡県福岡市中央区大名1丁目8-10  
 福岡安藤ハザビル5F  
 TEL : 092-724-1113  
<http://minamitani-law.jp/>

### 関東さつま川辺会

第28回総会は、平成31年3月3日(日)  
 12:00よりホテルメトロポリタンエド  
 モント(千代田区飯田橋)で開催致しま  
 ず。川辺出身の方に限らず、ご縁のあ  
 る方々のご参加をお待ちしております。

会長 川 野 博 一  
 (川辺高昭和37年卒)

連絡先 〒181-0005 三鷹市中原3-8-30  
 事務局長 吉 留 浩 一 (0422-26-7065)

みなみにひろたか

### 南谷洋至法律事務所

弁 護 士 南 谷 洋 至  
 (昭和49年卒)  
 金峰町白川・阿多中出身

世界一の人生応援団長を目指しています。  
 いつのときも、神戈陵魂が、心の支えです。

〒810-0041 福岡市中央区大名一丁目8番12号  
 第二西部ビル3階・南谷洋至法律事務所  
 TEL 092-736-1531 FAX 092-736-1533  
 (川辺高校福岡同窓会事務局)

### シモ動物病院

院長 霜 出 幸 七  
 (41年卒)

愛犬・愛猫の病気の予防  
 治療に、ご利用ください。

〒891-0113  
 鹿児島市東谷山3-36-11  
 電話 099-267-5959

### ミネ・アニマルヘルス

獣医師 峯 苦 稔 三  
 (41年卒)

家畜の病気を予防し、安心・  
 安全な畜産物の生産に取り  
 組んでいます。

〒300-1622  
 茨城県利根町布川454-180  
 電話 : 090-2440-7109

### S41年卒のおごじょさん達へ

H30年度最後の3月30日(土曜  
 日)に桜を愛でる女子会(若干よ  
 かにせどん参加)を上野で開催  
 します。

みんな、おじゃったもんせ。

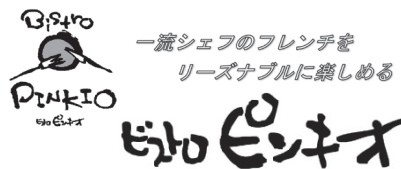
S41年卒幹事一同

先輩、後輩のみなさん高田馬場の

郷土料理+「薩摩の里」にぜひ

おじゃったもんせ!!

新宿区高田馬場4-18-10-2F  
 TEL 03(3363)3258 FAX 03(3350)1483  
 予約 40名様可能 営業時間 午後5時より午前1時まで  
 定休日 第1・第3日曜日 高田馬場駅徒歩5分  
 店主 山下由人(知覧出身、S48年卒)



オーナーシェフ 小 椋 清 明  
 経 理 担 当 小 椋 み つ 子  
 (旧姓 小原 41年卒)

川越市脇田町17-33

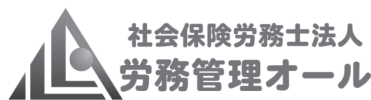
Tel/Fax 049-226-4567

<http://homepage3.nifty.com/pinkio/>

東武東上線川越駅東口より2分

### 会員の皆様のご健勝を お祈り申し上げます。

前会長 (昭34年) 大平政弘  
 〒247-0025 横浜市栄区上之町 47-16  
 電話 : 045-891-0197



代表社員 社会保険労務士 岡 清 司

社会保険労務士 有村 公美子  
 (平成6年卒)

☎160-0017

東京都新宿区左門町20-6 内藤ビル1階  
 電話 03(3351)5505/FAX:03(3351)5506

### 相続に関するご相談!

・親子、兄弟姉妹で  
 円満相続

ライフプランナー  
 ファイナンシャル・プランナー(日本FP協会会員)

内村 哲也

(昭和50年卒)

東京都品川区大崎1-11-1  
 ゲートシティ大崎ウエストタワー  
 ブルデューシャル生命保険株式会社  
 首都圏第1支社  
 TEL: 03-6675-9837  
 携帯: 090-4962-1820

### コバルト プランニング

より良い未来の創造に  
 向けて、夢をかなえる  
 手助けをいたします

ストラテジスト

小原 東洋明

(昭和38年卒)



国産無農薬バナナ栽培  
農業法人 神バナナ株式会社

〒897-0215  
鹿兒島県南九州市川辺町平山4109  
TEL : 0993 - 56 - 5575

<http://kamibanana.co.jp>

# 知的創造

源泉混混として、  
昼夜を舍かず。  
科に溢ちて  
面る後に進み、  
四海に放る。  
(五十「離業より」)

小社は学校の教材や書籍、チラシなど印刷物全般を専門に、千代田区で創業50年、本作りの専門会社です。自社で入力から製本まで一括で出来るからこそ、安価でご提供させて頂いております。

企画編集から製本まで 自費出版大歓迎!! カラー名刺・絵ハガキ・封筒・ポスター・横断幕 小部数でも安価でできます ご相談下さい

**Eishin 株式会社 盈進社**  
〒102-0072 東京都千代田区飯田橋2-3-2 三信ビル  
TEL 03-3262-3471代 FAX 03-5210-7226  
Eメール : info@eishinsya.co.jp

平素は東京同窓会に格別な  
ご高配を賜り御礼申し上げます。

「行ってみたい同窓会」  
「行ってよかった同窓会」  
作りを目指して努力して参ります。

川辺高等学校東京同窓会  
会長 小原 東洋明

## JA 鹿兒島県経済連直営店 鹿兒島華蓮銀座店

第11回全国和牛能力共進会にて日本一の和牛に輝いた鹿兒島黒牛をはじめ、  
鹿兒島黒豚や黒さつま鶏など、確かな食材でおもてなし致します。

東京都中央区銀座 8-8-8 銀座 888 ビル 9F  
TEL 03-3572-3153  
【営】 ☎11:30~14:00 ☎17:30~22:30  
【休】 日曜日・祝日



### 「川辺高校東京同窓会存亡の危機!!」

過去5年間平成年度卒業生の出席が異常に少ない、  
これでは途々に会がしぼんでしまうと思います。よ  
って、平成年度卒業生との交流を行ない、少しでも  
会員を増やしこの同窓会がすたれるのをふせぐ為  
に今から準備して行きましょう。

昭和45年卒有志名付けて「アクティ45」



昭和45年卒

# われら神戈陵同窓生



昭和20,25,27年卒



昭和28年卒



昭和29,30年卒



昭和32年卒



昭和33年卒



昭和34年卒



昭和35年卒



昭和36年卒

# われら神戈陵同窓生



昭和38年卒



昭和39,40,43,44年卒



昭和41年卒



昭和45年卒



昭和46,47年卒



昭和48年卒



昭和49年卒



昭和50年卒 (年度幹事)

# われら神戈陵同窓生



昭和51年卒



昭和52年卒



昭和53,54,55,56年卒



平成年度卒



松村講師（46年卒）の特別講演



歌手・ミーナさん、野中さん姉妹（53,52年卒）のミニコンサート

# われら神戈陵同窓生



森田本部同窓会副会長 (43年卒)



大山川辺高校校長



新入会員紹介 (平成30年卒)



高校三年生♪



同窓生有志の踊り



校歌斉唱



万歳三唱



お役目、ご苦労様でした

# 事務局からのお知らせ

## 第四十二回総会の報告

六月二日、新宿ワシントンホテルに総勢百八十名が集い、第四十二回総会・懇親会が盛大に開催されました。開催された総会において、会務報告（別表参照）、会計報告（別表参照）がありました承されました。

大先輩（昭和二十年代）の皆様方がお元気にご参加頂いていますのは何よりです。また、大きなテーブルが満席になるほど平成年度同窓生の

ご参加が増え、活況を呈するようになったことは明るい話題です。

**新規会員の発掘**

現在、会員総数は凡そ千十名、毎年三十名ほど減少しています。このまま推移すれば、来年度一千名を割り込みます。

さらに、これからの五年間に八十年卒の皆さんは全体の十八%を占めており、今後数年で総会・懇親会出席者の減少が懸念されます。

一方、昭和五十一年卒以降四十年間の会員数は全体の十三%に過ぎま

せん。この年代の会員を如何にして発掘していくかが問われています。

執行部では、ライブ・陶芸教室などイベントを企画、若い世代に魅力のある同窓会作りには腐心しています。

また、ホームページ開設・フェイスブック開設といった、若者にも受け入れやすい形でのコミュニティ作りを心掛けています。その成果でしようか、今年の総会・懇親会への平成年度同窓生の参加が増えてきているのは心強い限りです。

### 会費納入のお願い

東京同窓会は会員の皆様から納入

### 会務報告

- 平成 29年 4月 25日 新会員（関東地区進学者）へのお祝い&記念品贈呈 役員
- 4月 26日 リマインドコール実施 役員
- 5月 13日 役員会（総会1か月前の打合せ） 於：薩摩の里
- 5月 27日 役員会（総会1週間前の打合せ） 於：盈進社
- 6月 2日 本部同窓会・母校との交流会 於：新宿ワシントンホテル
- 6月 3日 第41回総会・懇親会 於：新宿ワシントンホテル  
特別講演会開催
- 6月 24日 役員会（役割分担 総会検証会） 於：薩摩の里  
薩南工業高等学校同窓会関東支部総会 会長
- 7月 15日 役員会（会報誌企画） 於：ハロー会議室  
23日 会報誌広告募集（川辺地区） 役員
- 8月 1日 会報誌原稿要請の案内状発送 役員
- 5日 南さつまい東ふるさと会総会 会長
- 9月 23日 会報誌校正作業 於：盈進社
- 10月 8日 会報誌校正作業 於：盈進社
- 10月 15日 関東知覧会 会長
- 10月 18日 会報誌校正作業（印刷打合せ） 於：盈進社
- 10月 22日 評議員会 於：東京しごとセンター  
会報誌発送作業
- 11月 10日 役員会 於：華蓮
- 11月 12日 会員応援（バレーボール） 於：港区スポーツセンター
- 11月 26日 会員応援（ライブ） 於：曙橋
- 平成 30年 1月 27日 役員会（総会懇親会企画会議） 於：薩摩の里
- 3月 11日 関東さつまい川辺会 森山副会長
- 3月 17日 評議員会 於：東京しごとセンター  
総会案内状発送作業

### 平成29年度 川辺高等学校東京同窓会 会計報告

自：平成 29 年 4 月 1 日  
至：平成 30 年 3 月 31 日

収入の部		支出の部	
	金額		金額
総会会費収入	1,409,000	総会関連費	1,643,546
年会費収入		会報誌関連費	338,374
総会出席者	164,000	会議費(会場費等)	34,381
総会欠席者	306,000	通信関連費	44,866
会報誌広告収入	310,000	他会出席	40,000
寄付金(御祝儀)	116,370	雑収入	12,000
雑収入	12,000	事務用品費	32,710
総会資料代(欠席者)	23,000	雑費	65,379
郵便貯金利息	5	振込料金	35,260
		寄附金(母校へ)	200,000
前期繰越金	1,068,848	翌期繰越金	974,707
合計	3,409,223	合計	3,409,223

出席者総数 193 名

内訳(会員男性 93 名、会員女性 80 名、学生 2 名、会員外 6 名、来賓者 12 名)

上記の件、監査の結果相違ありません。

平成 30 年 5 月 19 日

会計監事 園師 同 格  
" 山本 朝

頂いた年会費（千円）で運営されています。主に、総会案内状送付の通信費、会報誌作成費用に充てられます。したがって、年会費の納入が少ないと運営に支障をきたすこととなります。

年会費は、総会案内状送付時に振込用紙を同封し納入をお願いいたしますが、会報誌発行時点で年会費納入の確認が出来ていない方については、振込用紙を再発行させて頂きました。是非とも年会費の納入にご協力くださいますようお願い申し上げます。

## 第43回総会・懇親会のご案内

来年度の総会懇親会のご案内です

- (1) 日時：2019年6月8日(土)
- (2) 場所：新宿ワシントンホテル

趣向を凝らし、お待ち申し上げます  
卒業年度末尾1の付く年度の皆さん  
年度幹事です ご協力お願いします

### 母校への貢献

母校では、平成三十年度入学人数が六十三名と危機的状況に陥っています。

母校の活躍に勇気づけられ活力を頂いている私たち同窓生は、母校の繁栄を願わずにはいられません。

東京同窓会の目的は「会員相互の親睦を図り、母校の発展に寄与する」と会則に定められています。

母校から遠く離れた東京同窓会にできる事は限られてきますが、できる事から始めなければなりません。

母校を語ることも母校の重要な広報活動となります。

母校との交流もまた、母校活性化の一つであります。

母校では、毎年修学旅行で生徒さんたちが上京して参ります。この機会に会員の皆さんとの懇談の場を設けることと致しました。相互に高めあう交流会になればと願っています。

### 同窓会の究極の姿

同窓会の目的は一義には同窓生の親睦・懇親にあります。今日は、その同窓会の明るい究極の姿をご紹介します。

(一例) 起業を計画しているが「その道に明るい同窓生はいませんか」との問い合わせがあり、同窓生を紹介、その後ビジネスパートナーとして協力関係を築いています。

(一例) 同窓会総会に出席した縁で交流が始まり、定年退職した同窓生が後輩の勤務する会社に職を得ることが出来ました。

これぞ正に究極の同窓会ではないでしょうか。これらに続く交流が生まれることを期待しています。

### お詫びと訂正

## 2020年

### 母校では創立120周年を迎えます。

今年の総会で  
2019年と報告いたしました  
2020年の誤りでした。  
お詫びして訂正いたします。

### 昭和40年卒業の皆様へ

人生七十古来稀+弍歳  
という年齢を迎えました

今が青春だ!!

残りの人生の出発点です!

さあ 大きな夢を描こう!

夢は若さの秘訣!!

### 皆んな集まって、青春を語ろう!!

#### 第43回総会懇親会

2019年6月8日(土)

9:00 ~ 15:00

ワシントンホテルにて



第41回総会懇親会

[昭和40年卒有志]

### 編集後記

事務局長 中原信寛  
(昭和五二年卒)

実家に初めてエアコンを入れた  
故郷の草木を知っている者にとつて  
人工の風が苦手なのは誰でも同じだ  
今年の夏がとりわけ暑かったのは  
進行する地球温暖化のせいなのか  
それとも老いたせいなのか

子供の頃には  
我慢できない暑さなど  
無かったはずなのに

いつの間にか  
コンクリートの森に囲まれ  
土の無い道を歩き  
この街にしがみついて生きている

来年の六月八日新宿ワシントンは  
エアコンの風も届かないぐらい  
最高気温を記録します

地球温暖化のせいではありません  
何より我々こそが熱い人種ですから

いくら暑くても暑さを感じなかった  
子供の頃の故郷に出会えます

編集者

小原、森山、川原、松永、橋本、椎  
原、山本、菊永、内村、中原、田中、  
原口、峯苔

# 〔西郷どん写真展〕



鹿児島空港「せごどん公園」の「せごどん」



城山の下「西郷どん」



上野の「せごどん」



川辺鉄山の「せごどん」  
(轟橋の近くの民家にある)



川辺鉄山の「せごどん」  
(轟橋の近くの民家にある)



上野の「せごどん」の「敬天愛人」